

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 30 年度第 3 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 7 月 31 日 (火)
午後 15 時 00 分から午後 18 時 40 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 331 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 17 名 (定足数 11 名 会議成立)
4. 議長 理事 川幡 穂高
5. 出席役員
理事 阿部 なつ江 (ZOOM 出席)
理事 市川 洋
理事 井出 哲
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 川幡 穂高
理事 倉本 圭 (ZOOM 出席)
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 中村 昭子 (ZOOM 出席)
理事 成瀬 元
理事 西 弘嗣
理事 浜野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 古村 孝志
理事 道林 克禎
理事 村山 泰啓
監事 鈴木 善和
監事 氷見山幸夫

午後 15 時 00 分、定数に足したので川幡穂高会長が開会を宣した。インターネット電話 ZOOM

を利用し、遠隔地から参加する阿部なつ江理事、倉本圭理事、中村昭子理事が審議に参加できることを確認した。議事に先だち、出席者全員が自己紹介を行った。

6. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新入会団体会員承認の件

同じく、定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、日本自然災害学会の入会を審議し、これを承認した。

第 3 号議案 委員会委員承認の件

各委員会の新規委員を承認した。各委員会の委員候補を示し、委員会ごとに審議した。各委員会の委員をリストの通り承認した。教育検討委員会については、西山忠男委員が資料から漏れていたため、追加の上承認された。また、各委員会の委員長の選出は、規則により委員の互選で決まるが、一方で、過去の理事会議事録にあるように、理事会と委員会との相互理解を深めるため、委員長は理事が対応するのが望ましいということを確認した。

第 4 号議案 SOLAS への大気水圏科学セクション協賛承認の件

申請書に基づき、SOLAS への大気水圏セクションからの協賛を審議し、承認した。

第 5 号議案 就業規則改定の件

就業規則の改訂を審議した。第 19 条「そのほか連合が指定する日」は理事会が指定する事項であるが、総務担当理事に一任することとした。退職金規則第 4 条改訂については取り下げとなり、改訂しない。

第 6 号議案 雇用手帳承認の件

本年 5 月に新たに設置した就業規則において、65 歳以上の職員の再雇用は理事会事項であり、既に 65 歳を超えている職員 4 名については本来 7 月 1 日に契約を更新する前に理事会にて審議を行う必要があった。しかし、理事会の開催スケジュールの関係で間に合わなかったため、追認の形で審議し、4 名の再雇用を承認した。来年度以降には、契約開始の新年度以前の理事会で審議することが確認された。

これまで職員は 7 月からの契約となっていたが、今後はこれを 4 月からの契約に変更するとの報告があった。

また、事務局の営業時間を 9 時 30 分から 17 時 30 分までと設定した旨、報告があった。

第 7 号議案 地球惑星科学振興西田賞準備資金取扱規則の改定の件

地球惑星科学振興西田賞準備資金取扱規則の改訂を審議した。西田篤弘会員より、地球惑星科学振興西田賞関連の規則についてご指摘があり、総務委員会、顕彰委員会および西田篤弘会員の間で検討を行っている。

総務担当西弘嗣理事が西田篤弘会員と規則に関して検討し、その結果を顕彰担当中村昭子理事、中村正人理事に報告した後、理事会に報告することとした。

第 8 号議案 会員管理等システム移行ならびにセキュリティ向上の件

連合大会後に、現在の会員管理システムの会社（株式会社リアルテック）から、人材不足のため従来と同等のサポートが難しくなったとの報告があった。これを受けて会長、副会長、事務局でシステム会社とも面談し、善後策を検討した。その結果、会員管理システム等のサポート業務を別会社に移行する必要が生じ、それに関わるスケジュールなどについても報告があった。理事会ではその方針を理解し、事務局が中心となって継続して対応することとなった。

第 9 号議案 プライバシーポリシー改定の件

GDPR（General Data Protection Regulation）が 5 月に施行されたため、プライバシーポリシーやシステムを改訂する必要が生じた。既に全会員に対し、本事項に対する日本地球惑星科学連合の対応方針について通知した。現在、事務局でアクションプランを制定しそれに基づいて準備を急いでいる。

8 月中に改訂の必要があるため、このまま事務局および末広国際コーディネーターに一任して改訂することが認められた。

第 10 号議案 その他（アースサイエンスウィークジャパン共催の件）

アースサイエンスウィークジャパンの共催申請について審議した。委員派遣に伴う旅費交通費の予算措置は既に終了している。これを承認した。

7. 報告事項

1. 川幡穂高代表理事職務報告

2018 大会後、参加者からアンケートを取った。今回は具体的なコメント一覧を示すにとどまるが、今後重要事項については、各委員会も含めて対応を検討することになるであろうとの発言があった。

AOGS との MOU を改訂することについて報告があった。条文の 7 については見直しの必要があるため、次回の更新時には削除を検討するよう指摘があった。

2. 田近英一理事（広報普及担当）職務報告

広報関連活動について報告があった。理事会新体制やフェローの最新の JGL の紹介があった。パブリックセッションのガイドラインの改訂を検討中である旨報告があった。

3. 中村正人理事（財務担当）職務報告

2018 年大会の収支について報告があった。予算よりも収支差額が小さかったため、より一層の節約をお願いしたいとの依頼があった。

非日本在住者への旅費の支払い方法について説明があり、そのアナウンスを発信することになった。

現在までの寄附金受け入れ状況について報告があるとともに、積極的に寄附金の受け入れを行っていくことで合意した。

4. 古村孝志理事（ジオエシックス担当）職務報告

ジオエシックス対応準備について報告があった。今後タスクフォースを作って検討していく。広報普及委員会、災害対応委員会、ダイバーシティ推進委員会、情報システム委員会、他代議員にも協力を仰いで進めていく予定である。連合でいくつかポリシーを制定することを検討している。

5. 西 弘嗣理事（総務担当）職務報告

連合が承認した協賛、後援ならびにサポートレターについて報告があった。今後、サポートレター発行にあたっては、JpGU からの依頼も同時に伝えるとよいのではという提案があった。

また、「今後の地球観測グランドデザイン」へのコメントの集約状況について報告があった。

委員会及び小委員会に関する規則について確認した。委員会委員は5月の任期終了から次の理事会にて新委員が承認されるまでは任期とみなすこと、また小委員会について、設置は理事会承認事項であるが、委員構成等は委員会承認事項であり、任期も委員会と一致する必要はないとの見解が報告された。

6. 大会運営委員会活動報告

大会運営委員会の活動状況について報告があった。2019 年大会の委員体制について報告があった。プログラムに関する変更点について報告があり、2019 年大会は EJ セッションを廃止し、E セッションと J セッションのみとする。また、一人当たりの発表数の制限や投稿者を筆頭著者かつ発表者とする、また不採択理由の改訂についても報告があった。

また、大会時参加者対応の問題点について報告があり、各受付カウンターでのセキュリティを高めること、また ID とパスワードがわからない参加者へのチケット代理発行、代理参加登録を有償にて行うとの報告があった。

また、国外及び国内からの参加者でクレジット決済ができない場合は、振り込み対応を有償で行うことにした。有償化については収益目的ではなく、個人情報保護、円滑な大会運営の確保を目的としており、必要経費のみを受益者に負担してもらうための措置である。所定の手続きで支払いや参加登録を行う参加者については、これまで通り特別な費用は発生しない。

7. 情報システム委員会活動報告

情報システム委員会の活動報告があった。MyJpGU について、予算や仕様の変更により、終了の方向で検討している。MyJpGU で用いている Orcid の会員 API については、Society to Orcid というサービスに移行しての利用を予定している。

8. グローバル戦略委員会活動報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。AOGS へのブース出展の報告があった。これまでは方針の策定等が主であったが、今後は特に代議員なども含めて、中堅の研究者を委員会に迎え、体制を変更していく方針である。新たな参加者の獲得や自然災害分野への注力など、新たな動きを計画している。

9. 教育検討委員会活動報告

教育検討委員会の活動報告があった。教員免許更新講習の準備状況、地学・地理オリンピックの準備・実施状況について、教育国際対応小委員会の活動状況について、連合パブリックセッションの活動について研究集会「地学教育の展望—来るべき南海トラフ地震に備えて—」について報告があった。

国際地学教育機関の次回 2022 年大会の開催地が日本に決まったことが紹介された。

10. ジャーナル編集委員会活動報告

ジャーナル編集委員会の活動報告があった。インパクトファクター (2.52) を取得したことが報告された。論文出版・編集状況について、編集会議の開催について報告があった。

11. 顕彰委員会活動報告

2018 年大会の学生優秀発表賞受賞者について報告があった。また、旅費補助の対象者のアンケートの抜粋が紹介された。

12. ダイバーシティ推進委員会

ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。2018 年大会時の保育室利用について報告があった。ハラスメントなどについては、今後ジオエシックスなどの TF と連携すると効果的な対応ができるのではないか、とのコメントがあった。

13. 日本学術会議についての報告

日本学術会議地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会および初等中等教育検討小委員会の活動について紹介があった。提言を発出することを目標として、議論を進めている。

また、全国地惑関係学科専攻へのアンケートについても紹介があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 16 時 40 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 30 年 7 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 3 回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	市川	洋	印
出席理事	井出	哲	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印

出席理事	中村	昭子	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	氷見山	幸夫	印